

参 加 要 領

大会参加費

	事前申し込み	当日申し込み
会 員	2,000円	3,000円
一 般	3,000円	4,000円
学 生	1,000円	1,000円

※参加費は1日のみ参加も、2日間参加も同額です。

事前申し込みは、8月31日までに必ず参加費の振り込みをしてください。

申し込み・振り込み期日

2025年6月1日(日) ～ 8月31日(日)

※9月1日以降の申し込みは、当日申し込みになります。

申し込みフォームや郵送ではなく、当日会場にて申し込みをしてください

申込書記入について

申込書に分科会、実技講座などの必要事項をご記入ください。実技講座は定員になり次第、締め切らせていただきます。

2日目昼食について

各自、ご持参ください。

キ リ ト リ

第51回全国大会参加申込書

氏 名	フリガナ	参加区分 該当するものに○をつける				申し込み 日
		会員	一般	学生		/
連 絡 先	【住所】(〒 -)	事前	当日	事前	当日	
	【TEL】 - -	職場 所属				
	【E-mail】					
	(自宅・携帯・職場)					
参加 該当するものに ○をつける	2日間参加	1日目のみ 参加		2日目のみ 参加		
参加希望分科会 希望の分科会 1つに ○をつける	第1 「遊び・生活 ・育ち」	第2 「ものづくり・工作 生活科・総合」	第3 「特別支援 教育」	第4 「地域」		
参加希望 実技講座 希望の講座 1つに ○をつける	①	②	③	④	⑤	⑥
	⑦	⑧				
参加費	備考					
	円					

参加申し込み方法

1. 申込書の内容をホームページの第51回大会申し込みフォームに入力し、送信してください。
ホームページを利用されない方は、申込書にご記入の上、中村源哉宛に郵送してください。
(手労研事務局では申し込み受付はしていません。)
2. 実技講座は先着順で受け付けます。定員に達したためご希望に添えない場合は、連絡いたします。
(連絡は申し込み期日に申し込まれた場合に限りです。それ以降は、当日お伝えします。)
3. 下記銀行口座に参加費をお振込みください。
4. 振込みが確認され次第申し込み完了となり、受付票を送付します。大会直前に申し込みフォームや郵送で申し込まれた場合は、行き違いになることを避けるため、受付票は大会事務局に留置きします。
該当の方は当日、受付にお申し出ください。
5. お一人の方が何人かまとめて振込みをされる場合は振り込まれる方の申し込みフォームメモ欄、申込書の方は備考欄に全員の氏名をご記入ください。
6. キャンセルの場合は下記、大会事務局の中村源哉までご連絡ください。参加費の返金はできません。

申し込み先

- ホームページ <https://terouken.jp> (手労研)
- 郵送 大会事務局 中村 源哉 (なかむらげんや)

〒195-0073 東京都町田市薬師台1-25-29

TEL 090-9689-8280

※不在の場合は留守番電話にお名前、ご用件を入れてください。

振 込 先

振込先 横浜銀行 鶴川西支店
普通口座 6090450
名 義 ナカムラ ゲンヤ

大会内容についてのお問い合わせ

手労研事務局

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

千葉大学教育学部 生活科 鈴木隆司 研究室

TEL 043-290-2580 e-mail t-suzuki@faculty.chiba-u.jp

子どもの遊びと手の労働研究 第51回 全国大会のご案内

大会テーマ

遊びやものづくりでひとの輪を広げよう

2025年 9月14日(日)～15日(月・祝)

大会 時 程

14日(日)		15日(祝・月)	
9:00	9:30	9:00	9:30
受付 販売	全体会 基調講演	受付 販売	全体会 基調講演
10:30	11:00	10:30	11:00
分科会	分科会	分科会	分科会
12:30	13:00	12:30	13:00
昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:30	14:00	13:30	14:00
分科会	分科会	分科会	分科会
14:30	15:00	14:30	15:00
実技講座	実技講座	実技講座	実技講座
15:30	16:00	15:30	16:00
総会	総会	総会	総会

会 場

和光鶴川小学校

〒195-0051 東京都町田市真光寺町1281-1

会場:和光鶴川小学校までのアクセス



小田急線「鶴川駅」からバス20分「和光学園」 「鶴川団地」 終点下車
京王相模原線「若葉台駅」からバス20分「和光学園」 下車

手労研とは…<https://terouken.jp>(手労研で検索！)
1973年に発足した市民団体です。子どもの遊び、手仕事やものづくりを子どもの生活をベースにしながら、幼児から青年まで数多くの実践と研究を重ねてきました。
発足50年、会報は600号を超えます。

代表委員 土井康作(鳥取大学名誉教授)
事務局長 鈴木隆司(千葉大学教育学部教授)



手づくり交流会 14日(日) 13:00~15:00

手づくりコーナー、遊びのコーナーがあります。作り方、材料の入手、工夫点などを交流しましょう。大会参加のおみやげにしてください。1日目から参加しても、2日目だけ参加しても参加費は変わりません！ぜひ1日目からご参加ください。

総会 14日(日) 15:00~16:00

1年に1回の総会です。手労研の活動や会報について、一緒に考え合える機会です。会員の皆様はぜひ、ご参加ください。

全体会 15日(祝・月) 9:30~10:30

基調提案

今回は第1分科会より、乳幼児保育の現場から遊び、生活、育ちを中心に提案します。(提案：第1分科会責任者 福田 薫)

活動の重点

手労研の1年の活動で重点として取り組みたいことを、現在の情勢を踏まえつつまとめて報告します。

分科会 15日(祝・月) 10:30~12:30 13:30~14:30

第1分科会 あそび・生活・育ち「今、そしてこれからの子どもの遊びと生活」

保育・教育現場では、コロナ前から現在までの経過を追いながら、子どもの生活・遊びについて考えてきました。大きな影響を受けた今だからこそ、大切にすべきことを考え合いたいと思います。

第2分科会 ものづくり・工作・生活科・総合「語り合おう！授業での活動や体験の意味」

昨年度の授業実践の報告で、体験があったからこそその子どもの学びが報告されました。今年度はそこから一歩進んで、ものづくり等の活動や生活科・総合的学習での体験がどう子どもの学びにつながっていくのか、子どもにとっての活動や体験の意味とは何なのかをみんなで語り合いたいと思います。

第3分科会 特別支援教育「これからの集団づくり」

特別支援分野で働く若い世代が急増しています。ここまでの実践の成果を活かし、一人一人が力を出し合える集団を、若人とともに高めていく方策としてどんなものがあるか、改めて語り合っていきたいです。興味のある方は奮ってご参加ください。

第4分科会 地域「くらす・つくる・つながる」

地域でのものづくり活動、人と人をつなげていく活動を交流します。学校教育や社会教育での活動と自主サークル的な活動の内容やそこへの関わり方を交流し、さらなる地域での活動の活発化や広がりを追求していきます。

実技講座 15日(祝・月) 14:30~16:00

各講座は、いずれも手労研で培ってきた魅力的なものです。どれか一つに参加できます。定員になり次第、締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。 中の人数は定員です。

① びっくりボックス

東森 茂美 大阪支部

12人



糸を勢よく引けばビックリ！
幼虫が成虫に変身！

② カラフル傘

新谷 祐貴 千葉支部

15人

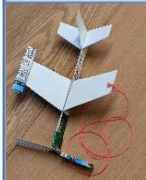


折紙で同じ形をたくさん作り、組み合わせるとあら不思議。とってもすてきな傘が出来上がります。

③ 牛乳パックで作る 自分ではよく見えない飛行機

名和 秀幸 大阪支部

12人



牛乳パックひとつで作れます。
自分の頭の上で回して、
見ていると目が回って
ぶったおれます。

④ レインスティック &簡単マーブリング

福田 薫

川崎サークル

15人



アフリカ発祥の伝統的な民族楽器を真似て、
優しい雨の音をする
楽器を作ります。
簡単にできるマーブリングで装飾します。

⑤ 探究型ヨーヨー風車

土井 康作 東京支部

15人



上下に動かすと風車が
回る！なぜ回るの？
つくり・実験し・遊んで
その謎を解きます。

⑥ ベーゴマで遊ぼう (技の遊びパートⅠ)

須藤 敏昭

東京支部

10人



初心者大歓迎。紐の巻き方から指南します。コマと紐のプレゼントも。最後は、床(土俵)を囲んで皆で勝負しましょう。

⑦ 金属を磨こう

外村 拓也 京都支部

15人



金属を磨いてピカピカにしましょう。真鍮のメダルに刻印して、キーホルダーにします。

⑧ まっすぐ切れるのこびき・ 筆箱づくり

鈴木 隆司

千葉支部

10人



木工の基礎をしっかり学ぶ筆箱づくりです。のこぎりでもまっすぐ切れる装置もつくれます。